



誰もができる、緊急下の子どもたちの心のケア

「子どものための 心理的応急処置」 紹介セミナー

参加
無料



Save the Children
セーブ・ザ・チルドレン

熊本地震緊急支援にて

災害などの緊急時、 あなたは子どもに どのように接しますか。

「子どものための心理的応急処置: Psychological First Aid for Children(略称:子どものためのPFA)」は、地震や事故などの緊急時、ストレスを抱えた子どもたちの心を傷つけずに対応するための手法です。



子どものためのPFA

行動原則

見る

聴く

つなぐ

日時

8月8日(火) 2017年

[受付10:00] 10:30~12:45

定員

先着

60名

※定員に達し次第、締め切ります

プログラム

- 「子どものためのPFA」とは?
- 行動原則を知ろう
- ストレスを抱えた子どもとのコミュニケーションの取り方を学ぼう

※講義とロールプレイを交えて行います。
※参加にあたり、心理などに関する特別な知識は必要ありません。

講師



セーブ・ザ・チルドレン・ジャパン
国内事業部プログラム・オフィサー

赤坂 美幸

Miyuki Akasaka

日本と米国で心理学と幼児教育を学び、小児病棟で心理社会的支援などの経験を積む。2011年、セーブ・ザ・チルドレン・ジャパンに入局。現在、国内で「子どものためのPFA」の普及に取り組んでいる。

会場

情報オアシス神田
神田北スペース 会議室名「オアシス7」
東京都千代田区神田多町2-4第2滝ビル4階
・JR神田駅北口、西口より徒歩3分
・東京メトロ銀座線神田駅4番出口より徒歩3分

参加者の声

- 行動原則の「見る・聴く・つなぐ」はいろいろな場面で役立つと思いました。使ってみたいです。
- ロールプレイが楽しく、実践的に学びました。
- 理論と具体的な使い方を聞けて、さらに演習で自分で体験できたのが良かったです。

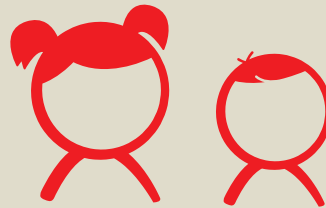
詳細とお申込み方法は裏面へ

誰もができる、緊急下の子どもたちの心のケア

「子どものための 心理的応急処置」 紹介セミナー

地 震や事故などの危機的な出来事に直面した子どもたちは、普段とは違うさまざまな反応や考えを示します。皆さんは、ストレスを抱えた子どもたちにどう対応しますか？

「子どものためのPFA」は、世界保健機関(WHO)などが作成したPFAマニュアルをもとに、セーブ・ザ・チルドレンが子どもに特化して、2013年に開発しました。子どもの認知発達段階の特性にあわせて、ストレスを抱えた子どもを傷つけずに対応するための手法です。これまでに緊急人道支援の現場をはじめ、日本国内では2016年の熊本地震の支援活動で活用されています。現在、セーブ・ザ・チルドレンは「子どものためのPFA」を日本国内で普及するために、学校の先生や保育士、子ども支援に携わるNPO関係者や災害医療関係者などを主な対象に研修を実施しています。今回の紹介セミナーは、短い時間ながらも講座とロールプレイの一部を体験できる内容となっています。普段から子どもに接する機会の多い方々の参加をお待ちしています。



申込方法

■ メールでお申込みの場合:

件名を「8月8日PFA紹介セミナー申込み」とし、氏名(ふりがな)、所属、電話番号をご明記ください

pfa@savechildren.or.jp

■ ウェブサイトでお申込みの場合:

QRコード、またはサイトURLからお申込みください。



<http://bit.ly/2tqmpNS>

主催・お問い合わせ

公益社団法人セーブ・ザ・チルドレン・ジャパン
TEL 03-6859-6869(平日9:00-17:30)

会場

■ 情報オアシス神田

神田北スペース 会議室名「オアシス7」

東京都千代田区神田多町2-4
第2滝ビル4階

・JR神田駅北口、西口より徒歩3分

・東京メトロ銀座線神田駅4番出口より
徒歩3分

※1Fがコンビニのサンクスです。

対象

どなたでもご参加いただけます。

特に、教育機関や子ども支援NPOの方、大歓迎です。

※託児のご用意はございません。
お住まいの地域の一時預かり等をご利用ください。

